

※WEB出願対象外※

外国人留学生入学試験

1. 趣旨

大学において教育を受ける目的をもって入国した外国人留学生を対象とする入学試験制度です。

2. 募集人員

学 部	学 科	募集人員
国際文化	音楽	若干名

※ピアノ演奏家課程・管弦打楽器演奏家課程を志望する場合は、それぞれピアノ課程・管弦打楽器課程を第2志望として出願することができます。演奏家課程が不合格となっても、成績適当と認められた者は第2志望(課程)での入学を許可します。

3. 出願資格

※受験を希望する場合は、事前に入試・広報課までお問い合わせください。

日本以外の国籍を有し、「留学」の在留資格を所有あるいは入学までに取得できる者。「定住者」等の資格を所有する者は除く)

次の(1)～(6)のいずれかに該当し、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験(試験科目は「文系」日本語・総合科目)」を受験した者又は公益財団法人日本国際教育支援協会(国際交流基金含む)が実施する「日本語能力試験(N2(旧2級)以上)」を有する者。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和6年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものを修了した者。
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者。
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。
- (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。
- (5) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者。
- (6) 本学が上記(1)～(5)と同等の資格があると認められた者。

《注意》 「日本留学試験」の詳細については独立行政法人日本学生支援機構、「日本語能力試験」の詳細については公益財団法人日本国際教育支援協会(国際交流基金含む)に照会すること。

「日本留学試験」 日本留学試験受付センター TEL0570-55-0585

「日本語能力試験」 受付センター TEL03-6686-2974

4. 試験日程

全コース・課程共通

試験日		試験場	集合時間	試験科目・試験時間		
				小論文	面接	実技試験
I期	11月25日(土)	坂之上キャンパス	9:00	9:30~10:30	11:00~	面接終了後 (注)
II期	2月7日(水)					

(注)音源審査を希望する者の実技試験は、音源提出による「音源審査」(作曲コース除く)とします。

※作曲コースの実技試験は本学にて実施します。

※実技試験曲目などの詳細は、実技試験曲目一覧を参照。

5. 選考方法

選考方法	内 容	時 間	配 点
書類審査	出願資格等	—	—
小論文	文章や資料を読んで指示に従って論じる。 (400字～800字程度：基礎知識の把握，専門知識を要する課題は出さない。)	60分	100点
面接	学習意欲，専門分野に対する関心と積極性等	15分	100点
実技試験 (注)	※詳細は実技試験曲目一覧を参照	—	演奏家課程 500点 それ以外の課程及び コース 300点

(注)音源審査を希望する者の実技試験は，音源提出による「音源審査」(作曲コース除く)とします。

※第2志望制度を希望する者の実技試験については，演奏家課程の実技試験課題曲にて受験，音源審査の場合は，演奏家課程の実技試験課題曲にて演奏を収録してください。

6. 出願手続 (WEB出願対象外) (出願書類は，入試・広報課までお問い合わせください。)

(1) 出願期間及び提出方法

出願期間(必着)		提出方法
I期	11月6日(月)～11月16日(木)	【郵送の場合】 「簡易書留」で郵送してください。締切間際の場合は必ず「簡易書留速達」としてください。
II期	1月5日(金)～1月26日(金)	【窓口持参の場合】 平日9:00～16:30まで，土曜日12:00までに持参してください。

(2) 入学検定料 ※一度納入した入学検定料はお返しできません。

30,000円

「普通為替証書(ゆうちょ銀行又は郵便局で購入※指定受取人欄は記入しないこと)」で出願書類に同封してください。

(3) 出願書類

出 願 書 類	注 意 事 項
志 願 票	本学所定の用紙に、必要事項を正確・詳細に記入し、「写真」を貼付してください。
受 験 票	本学所定の用紙に、必要事項を記入してください。
写 真	縦 4 cm×横 3 cmの写真 1 枚(裏面に氏名を記入)を志願票に貼付してください。 ※注意事項②のイを確認してください。
志 望 理 由 書	本学所定の用紙に、志望の理由を詳細に記入してください。
実 技 試 験 カ ー ド	本学所定の用紙を用い、記入してください。
楽 譜 (該 当 者 の み)	実技試験曲目一覧(P90~P93)を確認し、提出してください。
音 源 (D V D , メ モ リ カ ー ド , U S B メ モ リ) (該 当 者 の み)	受験生本人の演奏を収録した音源を提出してください。提出にあたっては「DVD音源提出方法」(P96~P97)をよく読み提出してください。 (音源審査希望者のみ。ただし、作曲コースは除く。メモ리카ード、USBメモリでの提出希望者は、入試・広報課へ問い合わせてください。)
練 習 室 使 用 申 込 書 (希 望 者 の み)	練習室の使用希望者は、本学所定の用紙を用い、記入してください。
卒 業 (見 込) 証 明 書 成 績 証 明 書 等	①最終学校の卒業証明書又は卒業見込証明書(原本) ※中国の場合は「最終学歴証書(原本)」及び「公正証書」を提出してください。 ②最終学校の成績証明書(原本) なお、①・②が提出できない国際バカロレア資格などを有する者は同資格証書(写)及び成績証明書を提出してください。 ③「日本留学試験」又は「日本語能力試験(N2<旧2級>以上)」の成績証明書(原本) ※日本留学試験等の結果が出願までに出ていない場合は、日本留学試験等の「受験票」のコピーを提出し、試験当日には「受験票」の原本を必ず持参してください。
住 民 票	市区町村長の発行した 原本 を提出してください。(在留資格・期間の記載されたもの)
身 元 保 証 書	本学所定の用紙に、身元保証人が記入してください。
宛 名 シ ー ル	宛名シール(3票)に郵便番号、住所、志願者氏名を記入してください。
レターパックライト	1枚購入し、真ん中から半分に折って書類と一緒に送付してください。 宛名欄は記入不要です。

※証明書類は出願3ヵ月以内に発行したものを提出してください。

※出願書類はすべて日本語で記入してください。また、日本語及び英語以外の言語で作成された証明書類には、日本語訳又は英語訳を添付してください。

(4) 注意事項

① 出願に関して

ア. 出願は、本学所定の封筒に出願書類を一括同封して、提出してください。

イ. **出願後の志望コース・課程及び実技試験曲目などの変更は一切認めません。**また、出願書類に不足・不備などがある場合は受け付けません。ただし、**出願後に住所変更などが生じた場合は直ちに連絡してください。**

ウ. 出願締切後数日経っても受験票が届かない場合は、入試・広報課に電話で問い合わせてください。

エ. 出願手続その他に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

② 入学願書記入に関して

ア. 必要事項はすべて記入してください。※印欄は記入する必要はありません。

イ. 写真は、正面向き・上半身・脱帽で、出願3ヵ月以内に撮影したものを貼付してください。

7. 合格発表・入学手続期間

合格発表		入学手続期間	
I期	12月6日(水)	12月6日(水)～1月17日(水)	【結果通知】 ※結果通知書と、合格者には入学手続に必要な書類を送付します。 ※可否に関する電話等での問い合わせには一切応じません。
II期	2月20日(火)	2月20日(火)～3月11日(月)	【入学手続】 ※入学手続時納入金の納入及び入学手続書類を提出してください。

8. 入学前課題学習

入学手続完了者には「入学前課題学習」を実施します。詳細については別途お知らせいたします。

9. 試験場の下見について

試験日前日の15:00～16:30の間に下見ができます。ただし、建物内部への立入りはできません。
※練習室使用申込者に限り、使用時間帯の立入りを許可します。

10. 練習室の使用について ※申込締切 試験日の前々日 12:30まで(必着)

本学試験場にて実技試験を受験する者は、試験日前日及び試験日当日に本学練習室を使用できます。希望者は、『練習室使用申込書』(本学所定の用紙)をFAX又は郵送にて入試・広報課へ提出してください。出願書類と同封しても構いません。出願書類と別に郵送する場合は、封筒の表に『練習室使用申込書在中』と明記のうえ提出してください。また、締切日間際の場合には速達にてお送りください。

【練習室使用時間】

試験日前日	9:00～16:30まで
試験日当日	8:00～8:50まで

※ただし、試験日前日が日曜・祝日の場合は利用できません。

11. 心身に障がいをもつ入学志願者との事前相談

心身に障がいをもつ者で、受験又は修学上特別な配慮を必要とする者は、できるだけ早めに入試・広報課へ連絡してください。

出願にあたっては、入試・広報課に必ず相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者などとの面談を行います。

12. 奨学金及び援助金

- ① 入学後、本人の申請により選考のうえ、授業料の30%を減免する私費外国人留学生授業料減免制度があります。
- ② 鹿児島国際大学同窓会外国人留学生支援金制度があります。

13. その他

最新の情報については、本学 HP でご確認ください。

※WEB出願対象外※

帰国子女入学試験

1. 趣旨

国際化の進展に対応した、帰国子女を対象とする入学試験制度です。

2. 募集人員

学 部	学 科	募集人員
国際文化	音楽	若干名

※ピアノ演奏家課程・管弦打楽器演奏家課程を志望する場合は、それぞれピアノ課程・管弦打楽器課程を第2志望として出願することができます。演奏家課程が不合格となっても、成績適当と認められた者は第2志望(課程)での入学を許可します。

3. 出願資格

※受験を希望する場合は、事前に入試・広報課までお問い合わせください。

日本国籍を有し、保護者の海外勤務などの事情により海外において教育を受けた者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、高等学校又はこれと同等の学校に2年以上在学し、令和4年4月1日から令和6年3月31日までに通常の学校教育課程12年以上を修了又は修了見込みの者。
- (2) 日本の高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者で、外国の高等学校又はこれと同等の学校に2年以上在学し、日本の高等学校の在学期間が2年未満の者。
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和4年又は令和5年に授与された者。
- (4) 本学が上記(1)～(3)と同等の資格があると認められた者。

《注意》外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

4. 試験日程

全コース・課程共通

試 験 日	試 験 場	集 合 時 間	試 験 科 目 ・ 試 験 時 間		
			小論文	面 接	実技試験
2月7日(水)	坂之上キャンパス	9:00	9:30~10:30	11:00~	面接終了後 (注)

(注)音源審査を希望する者の実技試験は、音源提出による「音源審査」(作曲コース除く)とします。

※作曲コースの実技試験は本学にて実施します。

※実技試験曲目などの詳細は実技試験曲目一覧を参照。

5. 選考方法

選考方法	内 容	時 間	配 点
書類審査	出願資格等	—	—
小論文	文章や資料を読んで指示に従って論じる。 (400字～800字程度：基礎知識の把握，専門知識を要する課題は出さない。)	60分	100点
面接	学習意欲，専門分野に対する関心と積極性等	15分	100点
実技試験 (注)	※詳細は実技試験曲目一覧を参照	—	演奏家課程 500点 それ以外の課程及び コース 300点

(注)音源審査を希望する者の実技試験は，音源提出による「音源審査」(作曲コース除く)とします。

※第2志望制度を希望する者の実技試験については，演奏家課程の実技試験課題曲にて受験，音源審査の場合は，演奏家課程の実技試験課題曲にて演奏を収録してください。

6. 出願手続 (WEB出願対象外) (出願書類は，入試・広報課までお問い合わせください。)

(1) 出願期間及び提出方法

出願期間(必着)	提出方法
1月5日(金)～1月26日(金)	<p>【郵送の場合】 「簡易書留」で郵送してください。締切間際の場合は必ず「簡易書留速達」としてください。</p> <p>【窓口持参の場合】 平日9:00～16:30まで，土曜日12:00までに持参してください。</p>

(2) 入学検定料 ※一度納入した入学検定料はお返しできません。

30,000円

「普通為替証書(ゆうちょ銀行又は郵便局で購入※指定受取人欄は記入しないこと)」で出願書類に同封してください。

(3) 出願書類

出 願 書 類	注 意 事 項
志 願 票	本学所定の用紙に、必要事項を正確・詳細に記入し、「写真」を貼付してください。
受 験 票	本学所定の用紙に、必要事項を記入してください。
写 真	縦 4 cm×横 3 cmの写真 1 枚(裏面に氏名を記入)を志願票に貼付してください。 ※(4)注意事項⑥を確認してください。
実 技 試 験 カ ー ド	本学所定の用紙を用い、記入してください。
楽譜(該当者のみ)	実技試験曲目一覧(P90～P93)を確認し、提出してください。
音 源 (D V D , メ モ リ カ ー ド , U S B メ モ リ) (該 当 者 の み)	受験生本人の演奏を収録した音源を提出してください。提出にあたっては「DVD音源提出方法」(P96～P97)をよく読み提出してください。 (音源審査希望者のみ。ただし、作曲コースは除く。メモリカード、USBメモリでの提出希望者は、入試・広報課へ問い合わせてください。)
練習室使用申込書 (希望者のみ)	練習室の使用希望者は、本学所定の用紙を用い、記入してください。
卒業(修了)証明書又は同見込証明書など	出身学校長が証明した卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書(原本) ※中国の場合は「最終学歴証書(原本)」及び「公正証書」を提出してください。 ※国際バカロレアなどの資格取得者は、その資格証書の写しを提出してください。
最終卒業(修了)学校などの成績証明書	出身学校長が証明したものの(原本)。記載内容(科目名、成績など)が記号などで示されている場合は、必ずその説明を付けてください。また、カリキュラムなどが記載されている要項(カタログ)などを提出してください。なお、日本の高等学校に在学したことがある場合には、高等学校長が証明した「調査書」を併せて提出してください。国際バカロレアなどの資格取得者は、成績証明書を提出してください。
身 上 記 録 な ど	「身上記録」と「海外在留証明書」に必要事項を記入し、提出してください。 なお、海外在留証明書は、在外公館又は保護者の所属する機関の長による証明書を提出してください。(本学所定の用紙)
宛 名 シ ー ル	宛名シール(3票)に郵便番号、住所、志願者氏名を記入してください。
レターパックライト	1 枚購入し、真ん中から半分に折って書類と一緒に送付してください。 宛名欄は記入不要です。

※証明書類は出願 3 ヶ月以内に発行したものを提出してください。

※出願書類はすべて**日本語で記入**してください。また、日本語及び英語以外の言語で作成された証明書類には、**日本語訳又は英語訳を添付**してください。

(4) 注意事項

- ① 出願は、本学所定の封筒に出願書類を一括同封して、提出してください。
- ② **出願後の志望コース・課程及び実技試験曲目などの変更は一切認めません。**また、出願書類に不足・不備などがある場合は受け付けません。ただし、**出願後に住所変更などが生じた場合は直ちに連絡してください。**
- ③ 出願締切後数日経っても受験票が届かない場合は、入試・広報課に電話で問い合わせてください。
- ④ 出願手続その他に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 日本国内の連絡先は、志願者への照会、入学手続書類などの連絡を迅速、確実に取れるよう、十分配慮のうえ設定してください。
- ⑥ 写真は、正面向き・上半身・脱帽で、出願 3 ヶ月以内に撮影したものを貼付してください。

7. 合格発表・入学手続期間

合格発表	入学手続期間	【結果通知】
2月20日(火)	2月20日(火) 、 3月11日(月)	※結果通知書と、合格者には入学手続に必要な書類を送付します。 なお、合否に関する電話・郵便などの問い合わせには一切応じません。 【入学手続】 ※入学手続時納入金の納入及び入学手続書類を提出してください。

8. 入学前課題学習

入学手続完了者には「入学前課題学習」を実施します。詳細については別途お知らせいたします。

9. 試験場の下見について

試験日前日の15:00～16:30の間に下見ができます。ただし、建物内部への立入りはできません。
※練習室使用申込者に限り、使用時間帯の立入りを許可します。

10. 練習室の使用について ※申込締切 試験日の前々日 12:30まで(必着)

本学試験場にて実技試験を受験する者は、試験日前日及び試験日当日に本学練習室を使用できます。希望者は、『練習室使用申込書』（本学所定の用紙）をFAX又は郵送にて入試・広報課へ提出してください。出願書類と同封しても構いません。出願書類と別に郵送する場合は、封筒の表に『練習室使用申込書在中』と明記のうえ提出してください。また、締切日間際の場合には速達にてお送りください。

【練習室使用時間】

試験日前日	9:00～16:30まで
試験日当日	8:00～8:50まで

※ただし、試験日前日が日曜・祝日の場合は利用できません。

11. 心身に障がいをもつ入学志願者との事前相談

心身に障がいをもつ者で、受験又は修学上特別な配慮を必要とする者は、できるだけ早めに入試・広報課へ連絡してください。

出願にあたっては、入試・広報課に必ず相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者などとの面談を行います。

12. その他

最新の情報については、本学HPでご確認ください。

実技試験曲目一覧

すべてのコース・課程において、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。
また、ピアノ課程及びピアノ演奏家課程の受験生は、各試験曲の演奏時間を、実技試験カードに記入すること。

ピ ア ノ	
ピアノ課程 (・総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・学校推薦型選抜B・C ・社会人入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 ・外国人留学生入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 ・帰国子女入学試験)	任意の自由曲1曲を演奏すること。(暗譜) ※楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
ピアノ課程 (・一般選抜 ・大学入学共通テスト 利用選抜 (前期日程・後期日程))	下記のA又はBより任意の1曲と、C. 自由曲1曲の計2曲を演奏すること。(暗譜) A. 下記練習曲集より任意の1曲 Chopin,Clementi,Cramer-Bülow,Czerny,Moscheles,Moszkowski B. 下記曲集より任意の1曲 Bach インヴェンションとシンフォニア、又は平均律曲集第1巻及び第2巻よりフーガのみ。 C. 自由曲1曲 ソナタ、組曲からの抜粋は可。ヴァリエーションの抜粋は不可。 ※暗譜で演奏すること。演奏順序は各自で決定して良い。楽曲の一部省略などはしてはならない。繰り返しはしなくてよい。 ※楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
ピアノ演奏家課程	下記のABC計4～5曲を演奏すること。(暗譜) A. 下記練習曲集より任意の2曲 Chopin練習曲集op.10, 25より任意の2曲。 ただし、op.10-3,6 op.25-2,7は除く。 B. 下記曲集より任意の1曲 Bach 平均律曲集第1巻、第2巻より任意の1曲。 ただし、第1巻10番BWV.855は除く。 C. 自由曲1～2曲 ソナタ、組曲からの抜粋は可。ヴァリエーションの抜粋は不可。 ※任意に選んだ楽曲の演奏時間が、曲間を含まずに必ず合計で15分以上となるように選曲し、暗譜で演奏すること。演奏順序は各自で決定して良い。楽曲の一部省略などはしてはならない。繰り返しはしなくてよい。 ※楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
管 弦 打 楽 器	
管弦打楽器課程	練習曲又は独奏曲より任意の1曲を5分程度以内で演奏すること。 暗譜でなくてよい。 受験上の注意 (注①) 各楽器共、無伴奏で演奏すること。 (注②) 試験曲の楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 (注③) 各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。 なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。
管弦打楽器演奏家課程	専攻楽器別課題曲一覧を参照のうえ、演奏すること。 受験上の注意 (注①) 各楽器共、無伴奏で演奏すること。 (注②) 試験曲の楽譜を提出すること。 (注③) 各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。 なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。

声 楽																																																													
声楽コース ・総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・学校推薦型選抜B・C ・大学入学共通テスト 利用選抜(後期日程) 社会人入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 外国人留学生入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 帰国子女入学試験	自由曲2曲(暗譜) ・伴奏者は本学で用意する。 ・伴奏者用楽譜を(変更やカットを含み, 記入事項があれば記入して)提出すること。																																																												
声楽コース ・一般選抜 ・大学入学共通テスト 利用選抜(前期日程)	下記のA. 課題曲より1曲と, B. 自由曲1曲の計2曲を演奏すること。(暗譜) A. 課題曲 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">1.</td><td style="width: 65%;">Star vicino</td><td style="width: 20%;">(S.Rosa)</td><td style="width: 10%;">A-Dur</td></tr> <tr><td>2.</td><td>Sento nel core</td><td>(A.Scarlatti)</td><td>f-moll</td></tr> <tr><td>3.</td><td>Se tu della mia morte</td><td>(A.Scarlatti)</td><td>f-moll</td></tr> <tr><td>4.</td><td>Caro laccio</td><td>(F.Gasparini)</td><td>Es-Dur</td></tr> <tr><td>5.</td><td>Lasciar d'amarti</td><td>(F.Gasparini)</td><td>f-moll</td></tr> <tr><td>6.</td><td>Sebben, crudele</td><td>(A.Caldara)</td><td>d-moll</td></tr> <tr><td>7.</td><td>Per la gloria d'adorarvi</td><td>(G.B.Bononcini)</td><td>F-Dur</td></tr> <tr><td>8.</td><td>Vergin, tutto amor</td><td>(F.Durante)</td><td>c-moll</td></tr> <tr><td>9.</td><td>Nina</td><td>(G.B.Pergolesi)</td><td>e-moll</td></tr> <tr><td>10.</td><td>Nel cor più non mi sento</td><td>(G.Paisiello)</td><td>F-Dur</td></tr> <tr><td>11.</td><td>浜辺の歌</td><td>(成田為三)</td><td>As-Dur</td></tr> <tr><td>12.</td><td>さくら横ちょう</td><td>(中田喜直)</td><td>b-moll</td></tr> <tr><td>13.</td><td>浜千鳥</td><td>(弘田龍太郎)</td><td>Es-Dur</td></tr> <tr><td>14.</td><td>かやの木山の</td><td>(山田耕筰)</td><td>D-Dur</td></tr> <tr><td>15.</td><td>荒城の月</td><td>(滝廉太郎)</td><td>d-moll</td></tr> </table> B. 自由曲 ※自由曲については, 上記A. 課題曲の中からの選曲も可とする。 受験上の注意 (注①) 伴奏者は, 本学で用意する。 (注②) 伴奏用楽譜については, 下記のとおりとする。 ・自由曲の伴奏用楽譜を(変更やカットを含み, 記入事項があれば記入して)提出すること。 (自由曲を課題曲から選択し, 調を変更しない場合は伴奏用楽譜の提出は不要) ・課題曲についても, 指定された調以外で歌う場合は, 伴奏用楽譜を必ず提出すること。	1.	Star vicino	(S.Rosa)	A-Dur	2.	Sento nel core	(A.Scarlatti)	f-moll	3.	Se tu della mia morte	(A.Scarlatti)	f-moll	4.	Caro laccio	(F.Gasparini)	Es-Dur	5.	Lasciar d'amarti	(F.Gasparini)	f-moll	6.	Sebben, crudele	(A.Caldara)	d-moll	7.	Per la gloria d'adorarvi	(G.B.Bononcini)	F-Dur	8.	Vergin, tutto amor	(F.Durante)	c-moll	9.	Nina	(G.B.Pergolesi)	e-moll	10.	Nel cor più non mi sento	(G.Paisiello)	F-Dur	11.	浜辺の歌	(成田為三)	As-Dur	12.	さくら横ちょう	(中田喜直)	b-moll	13.	浜千鳥	(弘田龍太郎)	Es-Dur	14.	かやの木山の	(山田耕筰)	D-Dur	15.	荒城の月	(滝廉太郎)	d-moll
1.	Star vicino	(S.Rosa)	A-Dur																																																										
2.	Sento nel core	(A.Scarlatti)	f-moll																																																										
3.	Se tu della mia morte	(A.Scarlatti)	f-moll																																																										
4.	Caro laccio	(F.Gasparini)	Es-Dur																																																										
5.	Lasciar d'amarti	(F.Gasparini)	f-moll																																																										
6.	Sebben, crudele	(A.Caldara)	d-moll																																																										
7.	Per la gloria d'adorarvi	(G.B.Bononcini)	F-Dur																																																										
8.	Vergin, tutto amor	(F.Durante)	c-moll																																																										
9.	Nina	(G.B.Pergolesi)	e-moll																																																										
10.	Nel cor più non mi sento	(G.Paisiello)	F-Dur																																																										
11.	浜辺の歌	(成田為三)	As-Dur																																																										
12.	さくら横ちょう	(中田喜直)	b-moll																																																										
13.	浜千鳥	(弘田龍太郎)	Es-Dur																																																										
14.	かやの木山の	(山田耕筰)	D-Dur																																																										
15.	荒城の月	(滝廉太郎)	d-moll																																																										
作 曲																																																													
作曲コース	下記の課題A・Bによる出題 (60分) A. モチーフによる作曲 B. 和声(バス課題)																																																												

専攻楽器別課題曲一覧

<管弦打楽器演奏家課程> 共通事項

- ※スケールのうち短調は和声的短音階で演奏すること。但し楽譜が指定されている楽器については、楽譜のとおり演奏すること。速度はモデラート。
- ※暗譜を指定している楽器以外は暗譜でなくてよい。
- ※各楽器とも、無伴奏で演奏すること。

フルート

- ①スケール：#b3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ②次のa)～c)のいずれか1曲を選択すること。
 - a) W. A. Mozart：《Flute Concerto No. 1 in G Major》(K. 313)より第1楽章(カデンツァは除く)
 - b) W. A. Mozart：《Flute Concerto No. 2 in D Major》(K. 314)より第1楽章(カデンツァは除く)
 - c) C. Stamitz：《Flute Concerto in G Major》(Op. 29)より第1楽章(カデンツァは除く)

オーボエ

- ①スケール：#b3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、1オクターブで演奏すること。
- ②L. Wiedemann：《45 Etüden für Oboe》より第9番と第12番

クラリネット

- ①スケール：R. Eichlerの《Scales for Clarinet》より#b3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを演奏すること。
- ②C. Rose：《32 Etudes》第11番～第16番より任意の2曲
- ③C. M. von Weber：《Concertino》(Op. 26)

バスクラリネット

- ①スケール：#b3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、1オクターブで演奏すること。
- ②練習曲または独奏曲より任意の1曲

ファゴット

- ①スケール：#b3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ②J. Weissenborn：《Bassoon Studies II 第2巻》より第4番、第6番、第9番、第13番から任意の1曲

サクソフォーン

- ①スケール：《サクソフォーンのためのトレーニングブック》(須川展也編/音楽之友社) p. 51～52より、#b3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ②M. M. Ferling：《Quarante-Huit Études》(48の練習曲)より第1番と第2番

リコーダー

- ①F. Brüggem：《5 Etudes voor Vingerveiligheid》(Broekmans & von Poppel Amsterdam出版)より第1番
- ②G. P. Telemann：《12 Fantasias for Flute solo》より第7番(アルトリコーダーで短3度高く移調して演奏すること)

トランペット

- ①スケール：#b3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ②J. B. Arban：《金管教則本第2巻》より《12 Celebrated Fantasies and Airs Varies》第3番(Fantasia Brillante)の中からイントロとテーマ

ホルン

- ①B dur, C dur, D dur, b moll, c moll, d mollから、長調・短調よりそれぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ②次のa), b)のいずれか1曲を選択すること。
 - a) W. A. Mozart：《Horn Concerto No. 1 in D Major》(K. 412)より第1楽章
 - b) W. A. Mozart：《Horn Concerto No. 3 in E-flat Major》(K. 447)より第1楽章(カデンツァは除く)

トロンボーン

- ①スケール：# b 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ② J. Rochut：《Melodious Etudes for Trombone Book 1》（C. Fischer出版）より第5番
- ③ F. Gräfe：《Concerto》よりSoloの始まりからThemaの20小節前まで
※この楽譜について、入手困難な場合には入試・広報課までお問い合わせください。

バストロンボーン

- ①スケール：# b 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、1オクターブで演奏すること。
- ②練習曲または独奏曲より任意の1曲

ユーフォニアム

- ①スケール：《JBCバンドスタディ パートブック ユーフォニアム》（アルソ出版）p. 32~33より、# b 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ② G. Kopprasch：《60 selected studies for Tuba Book 1》より第11番、第14番、第22番から任意の1曲。繰り返しを除く。
- ③ J. Rochut：《Melodious Etudes for Trombone Book 1》（C. Fischer出版）より第15番

チューバ

- ①スケール：# b 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、1オクターブで演奏すること。
- ②次のa), b) のいずれかの練習曲集より任意の1曲を選択すること。
 - a) C. Kopprasch《Sixty selected studies for Trombone》（Robert King出版）
 - b) G. M. Bordogni作曲, W. Jacobs編集《Complete Vocalises for Tuba》（Encore Music出版）
（※43 Bel Canto Studies for Tuba Robert King出版も可）

ヴァイオリン

- ①スケール：次のa), b) について、任意の調性を選択し、演奏すること。
 - a) C. Flesch《Scale System》より第5番の冒頭12小節
 - b) 小野アンナ《音階教本》（音楽之友社）より3度とオクターブ
(
 - ・ a), b) ともにスラーはなし。
 - ・ 全てレガートとする。
 - ・ 指使いは自由。)
- ②ロマン派以降の任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァは除く）

ヴィオラ

- ①任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァは除く）

チェロ

- ①任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァは除く）

コントラバス

- ①任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァは除く）

ギター（暗譜）

- 次のa), b) のいずれか1曲を選択すること。
- a) F. Sor：《Etudes》（Op. 31）より第1番
 - b) J. K. Mertz：《Bardenklänge》（Op. 13）より〈tarantella〉

ハープ（暗譜、繰り返しを除く）

- ①スケール：Es durを2オクターブで演奏すること。
- ② F. J. Naderman：《7 Sonatas progressives》より任意の1曲（全楽章）
- ③任意の独奏曲1曲

打楽器（暗譜、次のA・Bいずれかを選択）

A. スネアドラム

- ①練習曲または独奏曲より任意の1曲
- ②M. Goldenberg：《Modern School for Snare Drum》（Chappell出版）p. 46~51から任意の1曲

B. マリンバ

- ①練習曲または独奏曲より任意の1曲
- ② M. Goldenberg：《Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone》（Chappell出版）p. 64~73より任意の1曲

実技試験課題一覧

■ HONORS 特待生入学試験

すべてのコース・課程において、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。

専攻	実技試験内容	受験上の注意
ピアノ	自由曲10分程度 〈暗譜〉	<ul style="list-style-type: none"> ・曲数に制限なし。(ただし、10分程度とする。繰り返しは省略すること) ・各試験曲の演奏時間を、実技試験カードに記入すること。 ・すべての楽曲の楽譜のコピーを提出すること。
管弦打楽器	自由曲10分程度 〈暗譜でなくてよい〉	<ul style="list-style-type: none"> ・各楽器共、無伴奏で演奏すること。 ・試験曲の楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 ・譜面台は本学で用意する。 ・各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。
声楽	自由曲2曲 〈暗譜〉	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏者は本学で用意する。 ・伴奏用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。
作曲	A. 作品提出 自作品1曲の楽譜提出 (コピー楽譜可) B. 口頭試問 提出作品に関する試問 (15分程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の形態、楽器編成、所要時間等は自由とする。

■ 編入学試験(第2年次・第3年次共通)

すべてのコース・課程において、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。

専攻	実技試験内容	受験上の注意
ピアノ	自由曲(10分以内) 〈暗譜〉	<ul style="list-style-type: none"> ・曲数に制限なし。(ただし、10分以内とする。繰り返しは省略すること) ・各試験曲の演奏時間を、実技試験カードに記入すること。 ・楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
管弦打楽器	自由曲1曲(7分以内) 〈暗譜でなくてよい〉	<ul style="list-style-type: none"> ・各楽器共、無伴奏で演奏すること。 ・試験曲の楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 ・譜面台は本学で用意する。 ・各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。
声楽	自由曲2曲(10分以内) 〈暗譜〉	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏者は本学で用意する。 ・伴奏用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。
作曲	和声 バス課題(60分)	<ul style="list-style-type: none"> ・近親転調を含む16小節程度のバス課題を出題する。

作曲・和声 問題例

I 次の動機の中から一つを選び、12～16小節程度の旋律を作りなさい。
(速度記号，強弱記号，スラー等も記入のこと。)

1.



2.



3.



II 次のバス課題を四声体で実施しなさい。



実技試験：「音源審査」におけるDVD音源提出方法について

(1) 実技試験が「音源審査」となる入試区分及び試験場（作曲コース以外）

HONORS 特待生入学試験を除く、実技試験を実施する全ての入試区分で、希望する場合は「音源審査」を実施する。ただし、作曲コースについては、「音源審査」は行わず、本学試験場及び学外試験場において実技試験を実施する。

※実技試験内容などの詳細は実技試験曲目一覧を参照。

管弦打楽器の受験生は、試験曲の楽譜を（変更やカットを含み、記入事項があれば記入して）提出すること。

(2) 「音源審査」におけるDVD提出について

音源提出にあたっては、下記事項を十分熟読のうえ、正しく提出すること。

A. DVD音源提出要領

提出の形態	作成上の注意	作成時期	提出部数
DVD-R	<p>①実技試験曲目一覧を確認のうえ、実技試験カードに記入した曲目順に、課題曲の演奏を収録すること。</p> <p>②演奏を撮影する場所などについては特に定めない。</p> <p>③管弦打楽器の受験生については、無伴奏とする。なお、声楽コースの受験生については、必ずピアノ伴奏をつけたいうえで演奏を収録すること。</p> <p>④DVD-Rに標準モードで収録すること。</p> <p>⑤DVD-Rの表面とケースに『入試区分』、『氏名』、『出身高等学校名』、志望する『コース・課程』、『楽器名』又は『声種』、『演奏曲目』をそれぞれ記入すること。 （※記入方法など詳細は「B. DVD表面・ケースへの記入事項について」を参照）</p> <p>⑥受験生本人の演奏を収録すること。</p> <p>⑦映像の冒頭に受験生本人（演奏者）の上半身アップ（正面）を5秒間、必ず収録すること。また、演奏時における受験生本人（演奏者）の顔が判別でき、手元などがよく見えるように収録すること。</p> <p>⑧収録は、始めから終わりまで、すべてを通して行うこと。 ※上半身アップから全試験曲を演奏し終えるまで、収録を止めてはならない。</p> <p>⑨DVD-Rに記録する際は、PC以外の機器で視聴出来るよう、必ず互換性を維持すること。</p> <p>⑩収録したDVD-Rについては、画質、音質などを必ず確認のうえ、提出すること。</p> <p>⑪提出にあたっては、破損に十分留意し、適宜エアークッションなどで梱包のうえ、出願書類とともに提出すること。</p> <p>⑫提出された、DVD音源については、一切返却しない。</p>	出願前3ヵ月以内の演奏とする。	DVD-R 1枚

B. DVD表面・ケースへの記入事項について

「音源提出」にあたっては、受験生本人の演奏を収録したDVD-R(1枚)のDVD表面及びケースに必要な事項を必ず明記のうえ、提出すること。(以下の記入例参照)



DVD表面：記入例①

(入試区分)：一般選抜
(氏名)：津曲 太郎
(出身高等学校名)：国際高等学校

DVD表面：記入例②

(コース・課程)：器楽コース管弦打楽器課程
(楽器名)：フルート
(演奏曲目)：シャミナード：コンチェルティーノ op.107

ケース：記入例

(入試区分)：一般選抜
(コース・課程)：器楽コース管弦打楽器課程 (楽器名)：フルート
(氏名)：津曲 太郎 (出身高等学校名)：国際高等学校

参考 表記について

コース・課程	「楽器名」又は「声種」
器楽コース ピアノ課程 器楽コース ピアノ演奏家課程	ピアノ
器楽コース 管弦打楽器課程 器楽コース 管弦打楽器演奏家課程	主専攻とする楽器名
声乐コース	ソプラノ メゾ・ソプラノ アルト テノール バリトン バス

※メモリカード、USBメモリで提出希望の方は、入試・広報課へお問い合わせください。

「実技試験カード」の記入方法について

共通事項

- ① 実技試験カードは、「ピアノ課程／管弦打楽器課程／声楽コース」・「ピアノ演奏家課程／管弦打楽器演奏家課程」用の2種類ありますので、受験するコース・課程用の本学所定の用紙を用い、記入すること。
※音源提出による「音源審査」の場合でも、同様に必要事項を記入し、音源とともに提出すること。
- ② 演奏順序については、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。記入の際は、実技試験曲目一覧を参照のうえ、記入すること。
- ③ **出願後の志望コース・課程及び実技試験曲目などの変更は一切認めないので**、十分注意すること。

管弦打楽器受験生の留意事項

- ① 実技試験カードの楽器名欄に楽器を記入したうえで、当日やむを得ず楽器を持参できない場合には、借用欄の「要」に○印をつけること。
- ② 譜面台は、本学で準備する。なお、当日楽譜を見て演奏する受験生は楽譜を忘れないように十分注意すること。
- ③ 管弦打楽器演奏家課程の受験生の記入にあたっては、専攻楽器別課題曲一覧のならびを参照のうえ、**スケールのある楽器の受験生については、スケール欄へ演奏する任意の調をそれぞれ記入し**、スケール以外の課題曲については、実技試験カードの①②③の各欄にそれぞれ正しく記入すること。